

## イタリアを訪ねて

国際的な視野を広げ、地域リーダーになつてもらうという主旨のもと、日本を海外から見直し見聞を広めるということで、11月2日(日)から11月8日(土)の7日間、今回は1か国の訪問として月潟村6人、味方村6人、中之口村4人、計14人の村民が参加して実施されました。

今回の公式視察は、ローマ教授による生涯学習、ベネチア・ベネチア環境保全機構(ゴミ集積処理場見学)、ミラノ・福祉国家のあり方(ミラノの老人ホーム見学)の3カ所でした。

暖く快晴の下、最初にローマの社会人の為の講座について、ローマ大学長のフォロレンツ教授による生涯学習、ベネチア環境保全機構(ゴミ集積処理場見学)、ミラノ・福祉国家のあり方(ミラノの老人ホーム見学)の3カ所でした。

ける税金として、課税しているということです。ただ、この税金の中には家の前の公道そうじも含まれることです。ちなみに、イタリアはとにかく税金の高い国で、職種によって税額が違うが、平均で収入の47パーセントの税金であり税込みで月給をもらい、個人で税理士をやとい精算するそうです。

そして、日本でも騒がれているダイオキシン等の有害な煙に対する対策は、数段階の処理工程を経て放出しているとのことですが、さすがに環境保全機構といふ名に恥じない組織ということを、実感させられました。

最後に、ミラノの福祉国家のあり方について老人ホーム見学について、先方の都合で残念ながら見学できず、市役所の2階で老人福祉課のアンザギさんから、老人福祉の概要を聞かせてもらいました。